

区道台第59号線特定交通安全施設等整備事業（二種）

（台東区 雷門地下駐車場）

受賞機関 東京都台東区 都市づくり部駐車場建設

建設の背景

台東区は、「上野」、「浅草」を擁する江戸時代より続く庶民の町「下町」である。

今日、大都市東京における駐車場不足は、街づくりの上で大きな課題のひとつとなっている。モーターレーゼーションの進展により、都市部における路上での大量の違法駐車は、慢性的な交通渋滞を引き起こし、交通事故の誘因ともなっており、都市環境や防災上にも多くの問題を抱えている。

建設用地である浅草は、商業、文化、観光、そして娯楽という個性ある盛り場を背景に、時代とともに繁栄し、今日の台東区の発展を導いてきた。しかし、駐車場不足の問題は、深刻であり早急に解決しなければならない課題のひとつであった。

事業の概要

敷地の位置：東京都台東区雷門二丁目地先

地域地区：区道台第59号線

敷地面積：3,800.155㎡

建築面積：25,444㎡（地上部）

延べ面積：11,443.792㎡

規模：地下3階、地上1階

構造：RC造、柱SRC造

建築内装・設備について計画通知を提出

工期：平成7年12月～平成12年6月

計画設計及び施工上の特徴

(1) 全体計画との調和

入出庫口は、道路脇部に設置することが難いため、中央分離帯内に、各1箇所を設置した。出入口は、交通量及びイベント時（浅草三社祭り、隅田川花火大会等）の対応を考慮し、歩行者の安全と周辺道路の交通流の影響が少ない方向へのアクセスとした。

利用者の出入口は、在来よりも歩道幅員を1.5m拡幅し、階段3箇所、エレベーター1箇所を設置した。利用者の動線及び利便性を考慮するとともに、各出入口の向きを浅草寺、雷門とし、特にエレベーターは降りると正面が雷門の目前となるように、インパクトある配置とした。

周辺景観との調和を考慮して、入出庫口及び階段、エレベーターの壁、各階段の柱等は、雷門を



内部車路・車室



入口ゲート（昼間）



入口ゲート（夜景）

イメージとしたデザイン、色彩とした。

(2) 現地に即応した工法

山留壁工は、官民境界に近接して建設するため、地盤の変形を低減でき、止水性が期待できる工法が必要であるため、連続地中壁工法と比較した結果、施工性と経済性を考え、ソイルセメント壁（SMW）工法とした。

地盤改良工は、深層混合改良（CDM）工法と比較し、近接構造物や道路交通へ与える影響が少なく、都市土木で実績があるコラムジェットグラウト（CJG）工法とした。

(3) コスト縮減、省エネルギーの努力・工夫

発生土のうち2,000㎡を指定地処分から工事間利用へと変更した。

鉄骨柱のアンカーフレームを現場取付けから工場取付けに変更し、効率的かつ経済的に作業が行えるようにした。

維持費のなかでも大きな割合を占める、照明、動力エネルギーの大幅な軽減を図るため。照明制御システム、メインの給排気ファンにCO₂センサーを組み込みインバーターで制御する機器等を積極的に採用するなど、省エネルギーを徹底した。

(4) 関係機関との協力による事業実施上の効果

占用企業者の協力により、建設に伴い支障となる地下埋設物移設工事を共同掘削することにより、工事期間の短縮と掘り返しの抑制をはかった。

受賞賛助会員 清水建設(株)土木東京支店、不動建設(株)東京本店